



2019年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月4日

上場会社名 (株)クラウドIAホールディングス
 コード番号 3607 URL <https://www.kuraudia.holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 倉 正治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 安田 佳悟
 定時株主総会開催予定日 2019年11月26日 配当支払開始予定日 2019年11月27日
 有価証券報告書提出予定日 2019年11月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

上場取引所 東

TEL 075-315-2345

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期の連結業績(2018年9月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期	12,359	0.9	308	57.5	399	47.8	61	475.2
2018年8月期	12,251	2.1	196	34.4	270	28.7	10	98.3

(注) 包括利益 2019年8月期 47百万円 (%) 2018年8月期 1百万円 (99.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年8月期	7.04		1.1	3.2	2.5
2018年8月期	1.23		0.2	2.2	1.6

(参考) 持分法投資損益 2019年8月期 百万円 2018年8月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年8月期	12,518	5,656	45.2	649.21
2018年8月期	12,107	5,725	47.3	660.64

(参考) 自己資本 2019年8月期 5,656百万円 2018年8月期 5,725百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年8月期	726	985	192	933
2018年8月期	643	344	575	1,000

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年8月期		8.00		8.00	16.00	138		2.4
2019年8月期		8.00		10.00	18.00	156	255.5	2.7
2020年8月期(予想)		8.00		8.00	16.00		70.0	

2019年8月期期末配当金の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円00銭

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	1.9	330	6.8	400	0.1	200	226.4	22.87

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況 2 今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年8月期	9,689,200 株	2018年8月期	9,689,200 株
期末自己株式数	2019年8月期	975,523 株	2018年8月期	1,023,022 株
期中平均株式数	2019年8月期	8,699,062 株	2018年8月期	8,666,190 株

(参考) 個別業績の概要

2019年8月期の個別業績(2018年9月1日～2019年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期	1,069	7.9	115	9.1	149	11.2	96	76.1
2018年8月期	991		127		134	61.4	54	94.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期	11.10	
2018年8月期	6.33	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年8月期	6,852	5,505	80.3	631.83
2018年8月期	6,142	5,525	90.0	637.62

(参考) 自己資本 2019年8月期 5,505百万円 2018年8月期 5,525百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信【添付資料】2ページ「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料については、2019年10月4日に当社ホームページに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年8月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報)	15
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当企業グループは、婚礼衣裳メーカーとして“ものづくり”をコアとしつつ、より最終消費者に近く、より大きなマーケットである挙式関連サービス事業領域(B to C)の開拓を推進し、当企業グループの市場拡大に向け引き続き注力しております。

当連結会計年度に行った事業展開のうち主なものは、次のとおりであります。

衣裳事業においては、2019年8月に「第一ホテル東京シーフォート コスチュームサロン」(東京都品川区)を新規オープンいたしました。

リゾート挙式事業においては、事業環境が悪化しておりましたグアム、サイパン地域の挙式取扱いを、グアムについては2019年1月をもって、サイパンについては2018年12月をもって廃止いたしました。2019年1月には「アイネス ヴィラノツェ 沖縄」(沖縄県名護市)のリニューアル工事を行いました。2019年2月には、主にハワイにおける海外ウエディングのプロデュース等を行っておりました連結子会社である株式会社ファーストウエディングの全株式を譲渡いたしました。2019年5月には「ダイヤモンドヘッド・アネラ・ガーデン」(米国ハワイ州)の、全面改装を行い、新名称「アイネス ヴィラノツェ ワイキキレイア」としてリニューアルオープンいたしました。

写真・映像事業においては、2019年3月1日を効力発生日とする内田写真株式会社からの会社分割、株式会社有賀写真館からの事業譲渡の2つの事業承継案件を実施いたしました。

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

当連結会計年度における事業部門別売上高の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

以下の売上高の数値につきましては、事業部門内及び事業部門間の取引消去後となっております。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	増減	増減率 (%)
ホールセール事業部門 売上高	3,426	3,346	△80	△2.3
製・商品売上高	2,171	1,935	△235	△10.9
レンタル収入等	1,255	1,411	155	12.4
コンシューマー事業部門 売上高	8,824	9,012	187	2.1
衣裳取扱収入	3,461	3,453	△8	△0.2
リゾート挙式売上高	2,553	2,072	△481	△18.9
式場運営収入	2,250	2,455	204	9.1
写真・映像・美容売上高	558	1,031	473	84.7
連結売上高	12,251	12,359	107	0.9

(ホールセール事業部門)

製・商品売上高は1,935百万円(前年同期比10.9%減)、レンタル収入等は、前連結会計年度に取扱いを開始した有名ブランドドレスの売上寄与やリース事業(貸衣裳店向けレンタル)が堅調に推移したことから1,411百万円(同12.4%増)となりました。この結果、ホールセール事業部門の売上高は前年同期に比べ80百万円減少し3,346百万円(同2.3%減)となりました。

(コンシューマー事業部門)

衣裳取扱収入は3,453百万円(同0.2%減)とほぼ前年同期並みとなりました。式場運営収入は施行組数合計が676組と前年同期より71組増加したことから2,455百万円(同9.1%増)と堅調に推移しました。写真・映像・美容売上高は、事業承継案件の売上寄与もあり1,031百万円(同84.7%増)と前年同期に比べ大幅な増収となりました。

一方で、リゾート挙式売上高は、2018年2月にオープンいたしました「グラン・ブルーチャペル カヌチャベイ」(沖縄県名護市/カヌチャベイホテル&ヴィラズ敷地内)の売上寄与があったものの、2018年12月にサイパン地域、2019年1月にグアム地域の挙式取扱いを廃止したほか、2019年2月に連結子会社である株式会社ファーストウェディングの株式を譲渡したこと等から、2,072百万円(同18.9%減)と前年同期に比べ大幅な減収となりました。

この結果、コンシューマー事業部門の売上高は前年同期に比べ187百万円増加し9,012百万円(同2.1%増)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は12,359百万円(同0.9%増)、営業利益は308百万円(同57.5%増)、経常利益は399百万円(同47.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は61百万円(同457.2%増)と前年同期に比べ増収増益となりました。なお、連結子会社の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当該連結子会社の繰延税金資産の一部を取り崩したこと等により、法人税等調整額124百万円を計上いたしました。

② 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、次のとおりであります。

(a) ホールセール事業部門

次期のホールセール事業部門の売上高は3,200百万円(製・商品売上高が1,890百万円、レンタル収入等が1,310百万円)を計画しております。

婚礼衣装卸売りに関しては、引き続き魅力的な新商品の開発、展示会費等の販売費の削減を進めていくとともに、海外製造工場においては、原材料調達管理を最適化していくことにより生産効率を高め、人件費等の削減を図ってまいります。

(b) コンシューマー事業部門

次期のコンシューマー事業部門の売上高は9,400百万円(衣裳取扱収入が3,480百万円、リゾート挙式売上高が1,930百万円、式場運営収入が2,430百万円、写真・映像・美容売上高が1,560百万円)を計画しております。

衣裳事業については、大手式場業者による衣裳室運営の内製化等により、引き続き新規インショップ契約案件の減少が予想されることから、オープンショップによる衣裳外部提携の強化を図ってまいります。

リゾート挙式事業については、当期にリニューアルオープンいたしました「アイネス ヴィラノッツェ ワイキキレイア」や、改装を実施いたしました「アイネス ヴィラノッツェ 沖縄」を中心としたハワイ、沖縄地域における挙式の受注獲得に注力してまいります。

式場事業については、引き続き広告宣伝や販売促進の見直しにより来館数や受注獲得率の増加を図ってまいります。

写真・映像・美容事業については、当連結会計年度に実施した事業承継案件による売上高が通期で寄与するほか、引き続き業務提携強化による売上高の増加を図るとともに、外注比率を低減し、カメラマンやスタイリストといった人材の確保や社員教育に努めてまいります。

以上のことから、次期につきましては売上高12,600百万円(当連結会計年度比1.9%増)、営業利益330百万円(同6.8%増)、経常利益400百万円(同0.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益200百万円(同226.4%増)を見込んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度の流動資産は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し、2,882百万円となりました。これは主に、現金及び預金100百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ504百万円増加し、9,636百万円となりました。これは主に、有形固定資産392百万円、差入保証金294百万円の増加によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ411百万円増加し、12,518百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ37百万円増加し、3,336百万円となりました。これは主に、短期借入金150百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金66百万円の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ442百万円増加し、3,524百万円となりました。これは主に、長期借入金443百万円、長期未払金398百万円の増加、役員退職慰労引当金399百万円の減少によるものであります。

なお、当社は従来、役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上しておりましたが、2018年11月27日開催の第42回定時株主総会において役員退職慰労金制度廃止に伴う取締役に対する打ち切り支給に関する議案が決議されました。これに伴い、役員退職慰労引当金を全額取り崩し、打ち切り支給額を長期未払金として計上しております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ480百万円増加し、6,861百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円減少し、5,656百万円となりました。これは主に、利益剰余金77百万円の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は45.2%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが726百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが985百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが192百万円の収入となり、この結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ67百万円減少し、933百万円(前年同期は1,000百万円)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は726百万円(前年同期比12.9%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益388百万円、減価償却費312百万円、長期未払金の増加398百万円の収入があった一方で、役員退職慰労引当金の減少399百万円、売上債権の増加207百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は985百万円(前年同期は344百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の払戻による44百万円の収入、株式会社ファーストウェディングの全株式を譲渡したことにより、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による40百万円の収入があった一方で、有形固定資産の取得511百万円、事業譲受による582百万円の支出があったことによるものであります。なお、事業譲受による支出は、内田写真株式会社から会社分割による事業承継を行ったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は192百万円(前年同期は575百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる1,520百万円の収入があった一方で、短期・長期借入金の返済1,160百万円、配当金の支払額139百万円の支出によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年8月期	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期
自己資本比率(%)	48.0	43.6	46.3	47.3	45.2
時価ベースの自己資本比率(%)	34.1	34.4	58.0	40.0	34.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	10.5	3.4	13.1	5.8	5.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	16.6	55.6	21.1	41.9	49.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題であると認識しております。

利益配分については、連結純資産配当率2.5%を目標とした安定した配当運営を行っていくことを基本的な方針としております。

当期の配当につきましては、上記基本方針に則り、1株当たり中間配当8円、期末配当10円（内訳は、普通配当8円、記念配当2円）の年間18円とさせていただく予定であります。

また、次期の配当につきましては、1株当たり中間配当8円、期末配当8円の年間16円とさせていただく予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当企業グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当連結会計年度 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,034,067	933,622
受取手形及び売掛金	983,324	1,134,485
商品及び製品	182,441	127,960
仕掛品	78,263	79,383
原材料	213,382	221,409
貯蔵品	100,166	92,018
その他	393,281	299,023
貸倒引当金	△9,421	△5,279
流動資産合計	2,975,505	2,882,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,156,619	6,219,020
減価償却累計額	△3,967,256	△3,877,190
建物及び構築物(純額)	2,189,363	2,341,829
機械装置及び運搬具	451,560	462,111
減価償却累計額	△367,854	△383,143
機械装置及び運搬具(純額)	83,706	78,968
工具、器具及び備品	823,058	977,955
減価償却累計額	△736,374	△782,735
工具、器具及び備品(純額)	86,684	195,220
レンタル衣裳	573,366	523,094
減価償却累計額	△321,582	△288,849
レンタル衣裳(純額)	251,783	234,245
土地	2,548,339	2,702,099
建設仮勘定	—	162
有形固定資産合計	5,159,878	5,552,525
無形固定資産		
ソフトウェア	—	6,544
借地権	13,280	12,310
その他	7,756	10,274
無形固定資産合計	21,036	29,129
投資その他の資産		
投資有価証券	45,300	21,548
保険積立金	303,050	321,955
差入保証金	2,485,526	2,780,031
繰延税金資産	674,536	550,454
その他	477,158	405,785
貸倒引当金	△34,960	△25,183
投資その他の資産合計	3,950,611	4,054,591
固定資産合計	9,131,526	9,636,246
資産合計	12,107,032	12,518,869

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当連結会計年度 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	432,974	430,481
短期借入金	360,000	210,000
1年内返済予定の長期借入金	959,110	1,025,728
リース債務	30,170	28,782
未払法人税等	145,211	142,877
賞与引当金	125,385	167,867
役員賞与引当金	—	9,540
その他	1,246,294	1,321,714
流動負債合計	3,299,145	3,336,991
固定負債		
長期借入金	2,367,974	2,811,338
長期末払金	5,727	403,759
リース債務	29,046	24,592
役員退職慰労引当金	399,461	—
繰延税金負債	552	798
資産除去債務	246,749	253,731
その他	33,173	30,660
固定負債合計	3,082,684	3,524,879
負債合計	6,381,829	6,861,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,071,590	1,071,590
資本剰余金	1,228,876	1,223,681
利益剰余金	3,811,890	3,734,130
自己株式	△623,395	△594,451
株主資本合計	5,488,962	5,434,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,956	2,488
為替換算調整勘定	232,284	219,558
その他の包括利益累計額合計	236,240	222,047
純資産合計	5,725,202	5,656,997
負債純資産合計	12,107,032	12,518,869

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
売上高	12,251,597	12,359,164
売上原価	3,555,997	3,094,178
売上総利益	8,695,599	9,264,986
販売費及び一般管理費	8,499,415	8,956,048
営業利益	196,184	308,937
営業外収益		
受取利息	12,336	10,087
受取配当金	298	322
受取賃貸料	9,701	8,580
受取手数料	15,559	16,844
貸倒引当金戻入額	6,847	12,456
助成金収入	6,886	11,599
受取保険金	3,647	30,236
受取補償金	15,495	8,892
その他	23,082	29,077
営業外収益合計	93,854	128,098
営業外費用		
支払利息	15,449	14,550
為替差損	3,791	22,106
その他	410	753
営業外費用合計	19,651	37,411
経常利益	270,387	399,624
特別利益		
固定資産売却益	26,233	1,237
関係会社株式売却益	—	40,026
保険解約返戻金	5,304	—
特別利益合計	31,537	41,263
特別損失		
固定資産売却損	360	—
固定資産除却損	3,602	28,945
投資有価証券評価損	—	22,999
保険解約損	125	—
減損損失	195,849	—
特別損失合計	199,938	51,945
税金等調整前当期純利益	101,986	388,942
法人税、住民税及び事業税	170,661	202,691
法人税等調整額	△79,327	124,972
法人税等合計	91,333	327,664
当期純利益	10,653	61,278
親会社株主に帰属する当期純利益	10,653	61,278

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
当期純利益	10,653	61,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△334	△1,468
為替換算調整勘定	△9,055	△12,725
その他の包括利益合計	△9,389	△14,193
包括利益	1,263	47,084
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,263	47,084
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,071,590	1,228,876	3,939,896	△623,371	5,616,991
当期変動額					
剰余金の配当			△138,659		△138,659
親会社株主に帰属する当期純利益			10,653		10,653
自己株式の取得				△23	△23
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△128,005	△23	△128,029
当期末残高	1,071,590	1,228,876	3,811,890	△623,395	5,488,962

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,290	241,339	245,630	5,862,621
当期変動額				
剰余金の配当				△138,659
親会社株主に帰属する当期純利益				10,653
自己株式の取得				△23
自己株式の処分				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△334	△9,055	△9,389	△9,389
当期変動額合計	△334	△9,055	△9,389	△137,418
当期末残高	3,956	232,284	236,240	5,725,202

当連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,071,590	1,228,876	3,811,890	△623,395	5,488,962
当期変動額					
剰余金の配当			△139,038		△139,038
親会社株主に帰属する当期純利益			61,278		61,278
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△5,194		28,944	23,750
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△5,194	△77,760	28,944	△54,011
当期末残高	1,071,590	1,223,681	3,734,130	△594,451	5,434,950

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,956	232,284	236,240	5,725,202
当期変動額				
剰余金の配当				△139,038
親会社株主に帰属する当期純利益				61,278
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				23,750
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,468	△12,725	△14,193	△14,193
当期変動額合計	△1,468	△12,725	△14,193	△68,204
当期末残高	2,488	219,558	222,047	5,656,997

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	101,986	388,942
減価償却費	319,131	312,795
無形固定資産償却費	62,717	71,191
減損損失	195,849	—
のれん償却額	—	10,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,408	△12,790
賞与引当金の増減額(△は減少)	△45,431	44,046
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,030	9,540
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26,502	△399,461
受取利息及び受取配当金	△12,635	△10,410
支払利息	15,449	14,550
固定資産売却損益(△は益)	△25,872	△1,237
固定資産除却損	3,602	28,945
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△40,026
投資有価証券評価損益(△は益)	—	22,999
売上債権の増減額(△は増加)	63,785	△207,084
たな卸資産の増減額(△は増加)	31,966	62,837
レンタル衣裳の増減額(△は増加)	27,089	17,237
差入保証金の増減額(△は増加)	△25,871	△74,234
仕入債務の増減額(△は減少)	130,039	13,238
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,142	65,311
長期未払金の増減額(△は減少)	△10,417	398,031
その他	△105,888	210,606
小計	671,419	925,031
利息及び配当金の受取額	2,442	1,352
利息の支払額	△15,337	△14,655
法人税等の支払額	△15,180	△185,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	643,343	726,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△33,355	△16,504
定期預金の払戻による収入	22,221	44,033
投資有価証券の取得による支出	△21,344	△1,370
出資金の払込による支出	△10	△1
有形固定資産の取得による支出	△232,404	△511,709
有形固定資産の売却による収入	26,321	2,718
有形固定資産の除却による支出	—	△798
無形固定資産の取得による支出	—	△10,024
貸付けによる支出	—	△2,823
貸付金の回収による収入	600	600
建設協力金の支払による支出	△152,447	—
建設協力金の回収による収入	46,403	51,484
事業譲受による支出	—	△582,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	40,919
投資活動によるキャッシュ・フロー	△344,015	△985,474

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000,000	△150,000
長期借入れによる収入	1,700,000	1,520,000
長期借入金の返済による支出	△1,106,249	△1,010,018
リース債務の返済による支出	△29,913	△28,194
自己株式の取得による支出	△23	△0
配当金の支払額	△139,091	△139,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△575,277	192,662
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,654	△631
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△278,604	△67,222
現金及び現金同等物の期首残高	1,279,449	1,000,844
現金及び現金同等物の期末残高	1,000,844	933,622

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当企業グループは「ブライダル事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
1株当たり純資産額	660.64円	649.21円
1株当たり当期純利益金額	1.23円	7.04円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	10,653	61,278
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	10,653	61,278
普通株式の期中平均株式数(株)	8,666,190	8,699,062

(重要な後発事象)

該当事項はありません。